

▼シリーズ「CNCP 設立 10 周年を迎えて」

会員からの声（2）

CNCP 通信は、2014 年 5 月号の発刊から毎月欠かすことなく発行し、今度の 4 月号(Vol.120)で、ちょうど 10 年になります。これを機に、現在の正会員と理事・監事の皆様から、お言葉をいただきました。CNCP の設立準備から関わってこられた先輩方も数多くいらっしゃいます。当時は振り返った話、思い出、お祝い、将来に向けた期待など様々。是非お目通しを。

【掲載は届いた分の 50 音順】

●田中努（CNCP 常務理事・事務局長/土木学会シビル NPO 推進小委員会副委員長）

もう、10 年が経つんですね。今でも覚えている印象深い、CNCP に関わる小事件が 2 つあります。1 つは・・・土木学会のコンサルタント委員会が終わり、駒田智久委員長？（元 CNCP 理事）と、学会横の坂道を上って四ツ谷駅に向かっていたとき、教育企画・人材育成委員会の川島一彦委員長（当時東工大教授・元土木研究所耐震研究室長）に出会い、「お二人にお願いがある」と切り出された話の 1 つが、「まもなく団塊の世代がリタイヤするが、学会で活躍している方も多く、もったいない。活躍できる場を検討して欲しい」というものでした。後に、同委員会に「成熟シビル活性化小委員会」が設置され、駒田さんが委員長になり、調査・検討が始まりました。これが CNCP が生まれる端緒でしょう。2 つめは・・・CNCP が設立されて、駒田さんが、CNCP とセットで土木学会側に設置された「シビル NPO 推進小委員会」の委員長をされていましたが、数年して、私が後を継いだときです。CNCP の山本卓朗代表理事から、「一緒に飯を食おう」というメールが舞い込み、前土木学会会長と二人で・・・と困った記憶があります。しかし、どんな方かとネットで調べたら、なんと、私の高校の先輩だったのです。先輩が後輩をいじめることは、めったにありませんから、一気に気が楽になり、そして、いつの間にか、耐震工学一筋だった私が、CNCP にはまり込んでしまいました。（笑）CNCP を立ち上げた先輩方の多くも、私が若い頃から、土木学会のいろいろな委員会で出会い、ご指導くださった方々で、徐々に、こうなる DNA を埋め込まれていたのかも知れませんね。（笑）

●横塚雅実（CNCP 常務理事/NPO 法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会）

会員支援事業を担当しています。着任後これまで全国まちづくり NPO 調査、会員およびサポーターへのアンケート調査、賛助会員が取り組む CSR・ESG 活動に関する調査、中間支援機能を有する首都圏の法人・事業体に関する調査などを実施し、会員基盤を整え、会員向けサービスの充実・改善を図ってきました。具体的には会員が情報発信ツールとして当会のウェブサイトや CNCP 通信を活用したり、WEB 会議を利用する会員を支援するなど身近な改善や、各社が取り組む CSR・ESG 活動の情報交換、交流、協調等を進めているところです。今後は CNCP サロンの再開、活性化や資金調達における会員支援策の検討、更に設置予定の「インフラパートナー・グループ」との交流などを考えています。

●吉川良一（CNCP 理事/NPO 法人道路の安全性向上協議会専務理事）

CNCP 通信には何度か投稿しましたが、特に印象深いのは、2017 年 6 月 5 日に東名高速道路で起きた「あおり運転」事故判決について、CNCP 通信 57 号で異議を申し立てたことです。判決理由の中で、高速道路上の停止させる行為は運転には当たらないため、危険運転ではないとしたことです。高速道路上で停止することによる死亡事故は、当時でも全体の 3 割強を占めており、最大の死亡事故原因でした。私と同様の考えを持つ人は多数いて、2020 年 6 月 5 日、改正自動車運転死傷行為処罰法が成立し、「危険運転」に高速道路などで停車するなどの方法で走行中の車を停止または徐行させる行為が追加されました。これは、75 号で報告させて頂きました。